

BEENOS グループの投資先、アフリカ等でモバイル決済サービスを展開する「^{ニアレックス}Nearex」が、
インド タタ・グループの「タタ・キャピタル グロースファンド」等より
資金調達を発表
BEENOS グループも追加出資を実施

BEENOS 株式会社(東京都品川区 代表取締役:直井 聖太、以下「BEENOS」)のグループ会社で新興国のスタートアップ企業に投資を行う BEENOS Asia Pte. Ltd.(本社:シンガポール 以下「BEENOS Asia」)の投資先、アフリカ・中南米・アジア新興国においてモバイル決済サービスを展開する「Nearex Pte. Ltd.」(本社:シンガポール 以下「ニアレックス社」 <http://nearex.com>)は、インド大手財閥のタタ・グループが運営する投資ファンド「タタ・キャピタルグロースファンド」等より資金調達の実施について 2015 年 7 月 7 日に発表いたしました。なお、BEENOS Asia は 2014 年 1 月よりニアレックス社に出資をしており、今回の投資ラウンドにおいても追加出資を行っております。

ニアレックス社は、携帯電話、モバイルインターネットの普及が急速に拡大しており、今後数兆円の市場規模の可能性を持つアフリカ、中南米、アジア新興国でのモバイル決済市場において、モバイル決済端末および非接触型 IC 決済カードを使った少額決済(マイクロペイメント)用のシステム「XIP」を開発・提供しています。

銀行や ATM 等の整備が発展途上にある上記地域においては、現金の流通や保管管理が難しく、特に少額での決済には釣り銭が足りないといった課題を抱えているのが現状です。

ニアレックス社は、各国の携帯キャリア会社と提携の元、キャリアの流通網等を通じた同社のモバイル決済端末・カードの普及を進めています。

これにより、都市部に限らず地方における事業者ならびに個人も、現金を持たなくても商品・サービスの売買を行うことが可能になります。

ニアレックス社は、インドの携帯電話会社「マヒンドラ・コンビバ」のアフリカ担当副社長だったマヤンク・シャルマ氏(CEO)と、同社 CTO だったアルン・タンクサリ氏(CTO)によって 2012 年に設立されました。BEENOS は、ニアレックス社にとっての初の外部投資家かつ戦略的株主として 2013 年の立ち上げ直後より経営を支援し、2014 年 1 月に出資を行っております。

同社のシステムは、すでに各国携帯キャリアと共同のパイロット導入テストを完了しており、今後端末・カードの増産のステージに入りますが、今回のタタ・グループの経営参加および同社からの資金投入により、その成長スピードを加速化させていく予定です。

今後も BEENOS は、戦略的な株主として、引き続き、当社のアジアをはじめとする新興国における起業家ネットワークとの結びつきも通じて、ニアレックス社の事業成長を支援してまいります。



▲モバイル決済端末、非接触型 IC 決済カード
イメージ

【BEENOS 株式会社の概要】

- (1)社 名:BEENOS 株式会社(東証マザーズ:3328)
- (2)代 表 者:代表取締役社長 兼 グループ CEO 直井 聖太
- (3)本社所在地:東京都品川区北品川四丁目 7 番 35 号
- (4)設 立 年 月:1999 年 11 月
- (5)資 本 金:27 億 25 百万円

以上